

条幅部自由参考

5月28日正午必着

明石春浦先生書

谷口來相訪
空齋不見君
門徑稀人迹
簷峯下鹿群
衣裳與枕席
山靄碧氛氤

谷口來相訪
門徑稀人迹

空齋不見君
簷峯下鹿群

衣裳與枕席

山靄碧氛氤

明石幸子書

(岑 参)

碧水忽開新鏡面
青山都是好屏風

碧水忽開新鏡面。

青山都是好屏風（史 蕭）

碧水はみがき立ての鏡のように眼前にひらけ、青々とした山々はさながら屏風を引きまわしたよう。

若夫祇句

筆
墨
生
心
入
道
自
然

今和七年。暖。六月五日。壬子。之。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

雲勢漸多奇（白居易）

雲勢漸く多奇

季は夏に入りて草香殊に愛すべし。

風生緣葉聚
波動紫莖開
含_レ花復含_レ實
正待佳人來
（江

風生じて縁葉聚まり
波動きて紫莖開く
花を含み復た實を含み
正に待つ佳人の來たるを

風が起つて緑の葉が吹き寄せられ、波が動いて紫の茎が離れる。そして、菱は花を開き、また実を結び、今や美人が採りにくるのを待っている。

題二李疑幽居一（賈島）

李疑が幽居に題す
賈島

閑居少鄰竝
草徑入荒園

閑居かんきよ 鄰並りんべい少まれに 草徑そうけい 荒園こうえんに入るい

鳥宿池中樹
僧敲月下門

鳥は宿る
池中の樹
僧は敲く
月下の門

過_レ橋分_ニ野色_一 移_レ石動_ニ雲根

橋を過ぎて 野色を分ち 石を移して 雲根を動かす

暫去還來_レ此 幽期不_レ負_レ言

暫らく去りて
還た此に来る
幽期
言に負かず

野は晝の松の花くわふん粉のうす曇りみなみあらし 南嵐に 田うゑいそげる
(太田 水穂)みずほ

(太田水穂)

5月28日正午必着

半紙部規定課題A

5月28日正午必着

藤掛
花衲
落

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

5月28日正午必着

行書

隸書

明石春浦先生書

樹
神
落
藤
花

挂
初
落
藤
華

樹
神
落
藤
花

挂
初
落
藤
華

草書

行草書

ただひとり双峰に対して過す中に年老い 松木立の中の門は両側よりせまる崖をびったりと閉ざす
經典を翻訳して芭蕉の葉に書きしるし 袈裟を掛けておくところに藤の花が散りかかる
石畳を敷いて、新たに井戸を開き 林を切り拓いて毎日茶を植えておられる
時折り海の南より訪れる客に逢い 南蛮のことばで誰方かなどとたずねている

贈「山中日南僧」 張籍

獨向「雙峯」老

松門閉「兩涯」

翻經上「蕉葉」

掛「落藤花」

梵石新開「井」

穿林日種「茶」

時逢「海南客」

蠻語問「誰家」

山中の日南の僧に贈る

張籍

独り双峰に向かつて老ゆ

松門 両涯を閉ず

経を翻して蕉葉に上せ

衲を掛けて藤花を落す

石を登みて新たに井を開き

林を穿ちて日に茶を種う

時に海南の客に逢い

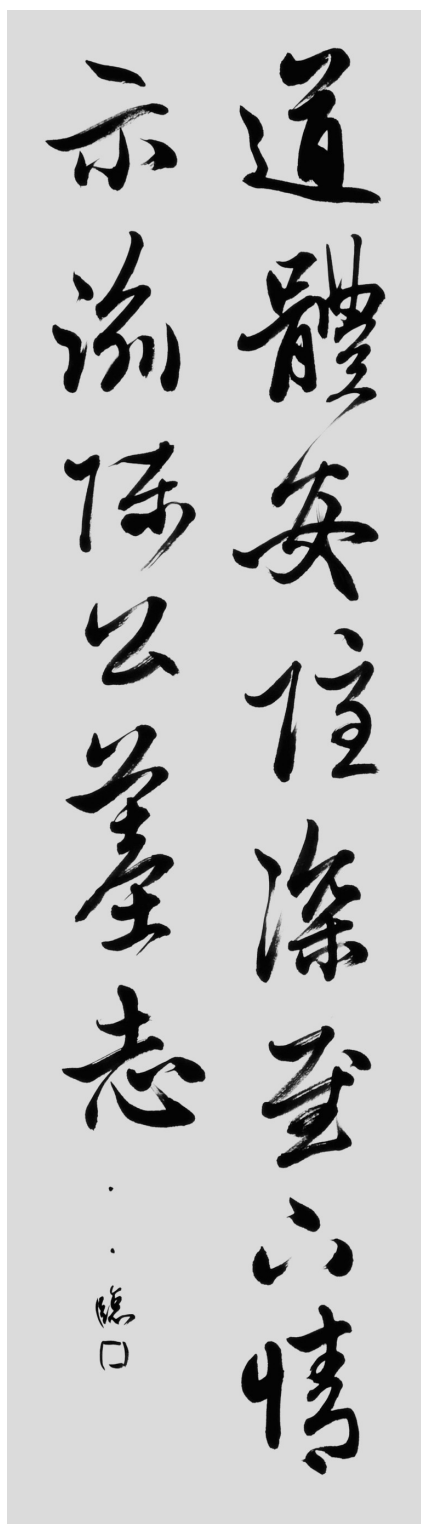
蛮語して 誰が家かを問う

(出典)
朝日新聞社刊
「三体詩」下より

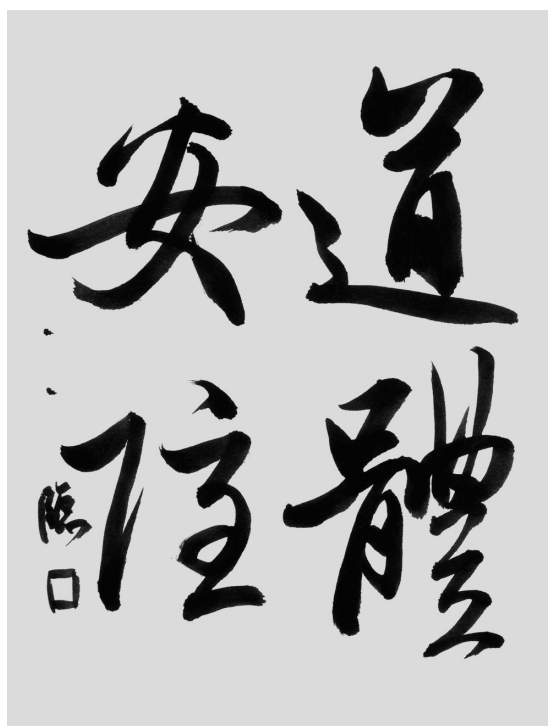
5月28日正午必着

門侍
所直字審
道體安穩深至下情
示流陳公墓志即如
朱命寫付月師矣
送至潤筆上已復如蒙
海以法語尤見

門。得所惠字。審道體安穩。深慰下情。示諭陳公墓志。即如來命。寫付月師矣。送至潤筆。亦已祇領。外蒙誨以法語。尤見
(吳)門(より)歸り、恵む所の字を得、道體安穩なるを(審らかにし)、深く下情を慰む。示諭陳公墓志、即ち來命の如く、寫して
月師に付せり。潤筆を送至せられ、亦た已に祇領す。外に誨を蒙るに法語を以てし、尤も



道體安隱なるを（審らかにし）、深く下情を慰む。示諭陳公墓志、



道體安隱なるを

元趙孟頫・尺牘（致中峰明本）

趙孟頫は、南宋の宝祐二年（一二五四）に生まれ、元の至治二年（一三三二）に没した。宋王朝の後裔でありながら、宋王朝を滅ぼした元の世祖皇帝フビライに招かれ元王朝に仕えた。このことは一族から批判を受け、後世の評判も芳しくないところもあるようであるが、政治家であり、元時代を代表する文人と称されている。字は子昂、号は松雪、鷗波。呉興（浙江省湖州市）の出身。

書人としての趙孟頫は、晋唐の古法を重んじ、復古主義を標榜し、王羲之を目ざし、更にそれを発展させようとしたといわれている。それは彼が皇族の出身で、貴族的な王羲之の書風は、伝統的に宋の宮廷で重用されていたことと、人格が円満で温和な教養人であったことに由来しているとされている。

趙孟頫の書風は筆法妍媚、結体淳古、すなわち端正で美しい書、風格高く、流麗さを備えているといわれている。

この書は元代一級の高僧・中峰明本に与えた尺牘十一通。優雅で温和な雰囲気味わいたい。（春廣）

5月28日正午必着

教育部毛筆

案内

あん
案

ない
内

中学一年

雨宮春聲先生書

文豪

ぶん
文

ごう
豪

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



榎戸春龍先生書

しょう
昭

わ
和

小学五年



横川春川先生書

あぶら
油

え
絵

小学六年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

5月28日正午必着



よう
用

じん
心

小学三年

藤田幸春先生書



あん
安

てい
定

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

し ろ 小学一年・幼年



森戸春濤書

ご 五 がつ 月 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

5月28日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

雨あがりの朝は庭の
草木もよみがえる

小学五年

みどりの田畑が広が
る風景は見事です

小学六年

まるで絵のように美
しい広々とした水田

中学

草木のみどりの美し
さは自然の恵みです

一般(級位)

あがりの朝は庭の
草木もよみがえる

一般(段位)

梅が香をたよりの風や吹きつらむ春めつらしく君がきませる(平兼盛)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

は	あ
	お
そ	い
ら	く
の	れ
い	よ
ろ	ん

幼 年

み	花
つ	に
ば	あ
ち	つ
の	ま
む	る
れ	

小学一年

か	赤
わ	や
い	
い	き
く	い
さ	ろ
花	の

小学二年

大	こ
空	い
た	の
か	ぼ
く	り
泳	が
ぐ	

小学三年

わ	野
れ	山
て	が
気	み
持	ど
ち	り
が	に
よ	お
い	お

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

松永翠舟先生書

五月二十八日正午必着
松永翠舟先生書



ひもすがら わか葉のうへの くもり空
悲毛 可 能 遍 利 具
くるればあかき 月いでにけり
連八 可支 天介里
(島木赤彦)